

2020年5月7日

東急建設 温室効果ガス削減目標の SBT 認定取得 ～ WB 2℃（2℃を十分下回る）削減目標で認定 ～

東急建設株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長：寺田 光宏）は、パリ協定で合意された平均気温の上昇を「2℃未満」に抑えるために、企業に対して科学的な知見と整合した削減目標の設定を求める国際的イニシアチブである SBT（Science Based Target）※ に温室効果ガス排出の削減目標を提出し、2020年4月に認定されました。

当社は、2019年にSDGsおよびESG経営への取り組みを推進するため「環境配慮経営の推進」について全社員にメッセージを発信し、環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の実現に向けて、汚染の予防及び環境保護に努め、従前より環境負荷低減のための活動をさらに推進するとともに、環境情報開示体制を見直し、積極的な開示に取り組んでいきます。



【SBT に認定された温室効果ガス削減目標】

区 分	Scope 1 + Scope 2 (自社の直接事業活動)	Scope 3 (サプライチェーン領域)
基準年	2018 年度	
2030 年度	2018 年度比 30%削減	2018 年度比 30%削減
2050 年度	2018 年度比 100%削減	—

Scope 1：自社の生産活動における重機・車両等の燃料使用に伴う直接排出

Scope 2：自社の生産活動における電力等の使用に伴う間接排出

Scope 3：サプライチェーンに相当する引き渡した建物の運用段階におけるエネルギー使用に伴う間接排出

今後当社は、SBT 認定目標の達成に向け

- ・工事現場：ハイブリッド重機・省エネ設備の導入推進、電動機器への変換、再生可能エネルギー電力の導入
 - ・ビルの省エネルギー化：建物の大幅な省エネに貢献する ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）の普及、建築物省エネ法の基準を上回るビルの提案推進
 - ・本社、支店等の事務所への再生可能エネルギー電力の導入
- 等に取り組む、温室効果ガス排出量削減を推進してまいります。

※SBT(Science Based Target)：産業革命前からの気温上昇を2℃未満に抑えるために、企業による科学的根拠に基づいて設定された削減目標を推進することを目的に、CDP（旧 Carbon Disclosure Project：気候変動対策に関する情報開示を推進する機関投資家の連合体）、WRI（World Resources Institute：世界資源研究所）、WWF（World Wide Fund for Nature：世界自然保護基金）、UNGC（United Nations Global Compact 国際グローバルコンパクト）の4団体が設立したイニシアチブで、2014年9月に設立。

【本件に関する問合せ先】

経営戦略本部 経営企画部 コーポレート・コミュニケーショングループ 西田
TEL 03-5466-5008 FAX 03-5466-5069 E-mail: webmaster@tokyu-cnst.co.jp

以 上